

夜

黒んぼの肌を水が包む
満天の星が淡く水面に映り
いびつに捻じ曲げられた心を
闇の中に混ぜ合わせ
へドロのように堆積させてゆく

ある犠牲が静かに払われる
誰にも知らされず
白アリのような本能が
繰り返し、大量に押し寄せ
生贄を取り囲んでゆく

世界を去ること
痕跡もなく
究極の安らぎ
物質としてのみ——
存在だけとなること

力は蒸発してゆく
拡散という意味——
暗闇の中では
透明な水が赤く染まっても
濁りとしてしか見えない

黄色い花や白い花の群生
高らかに歌われることを
準備し、待ち受けている者たち
その中央に横たわる
小さな種子

生きることが
種子を実らせることであるなら
絶望をも希望をも区別なく吸い上げ
得体のしれぬ合成を試み
撒き散らすがいい

しかし一方
生きることが
種子となることであるなら
そのために生れ落ちるがいい
死を受け入れるがいい

瞬く星々は知っている
冷酷さもなく
慰安もない
静寂
その揺らめきを

(2012.9.29)